

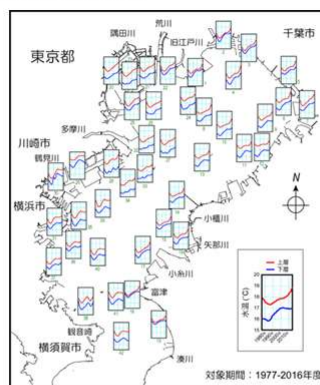
総合討論時の 補足資料

風間講師

1

東京湾における水温の長期推移 (1977-2016)

参考3 東京湾における水温の長期的推移

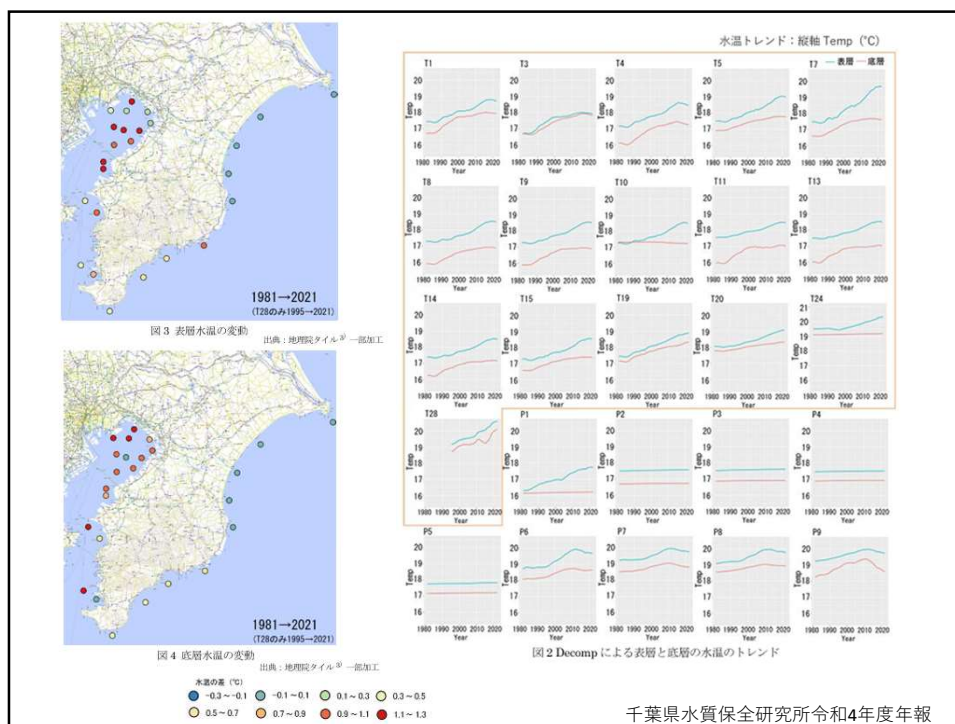


図は、東京湾全域に分布する 42 地点における水温の長期変化(トレンド成分)を、上層(0.5m)を赤色、下層を青色(深度上 1m)で示した。図によれば、

- ① 全地点・上、下層とも 1980 年代半ばに水温が最低値を示し、その後上昇している。
- ② 湾の西側の川崎市以南の地点では、上、下層とも 2000 年頃を境に水温が横ばいか、やや低下傾向に転じている。また、湾の東側でも、一部の地点で、下層に同様な変化が認められる。
- ③ 湾の東側の地点では、2010 年以降、上層で水温の上昇傾向が加速している。

(出典) 安藤精夫ら「東京湾の水温の長期変化について」第 53 回日本水理学会年会 講演要旨

2



3

St.25における無機態窒素・リン酸態りんの推移

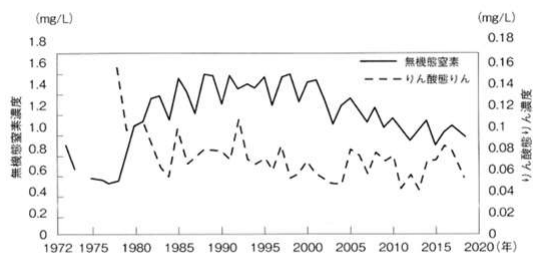
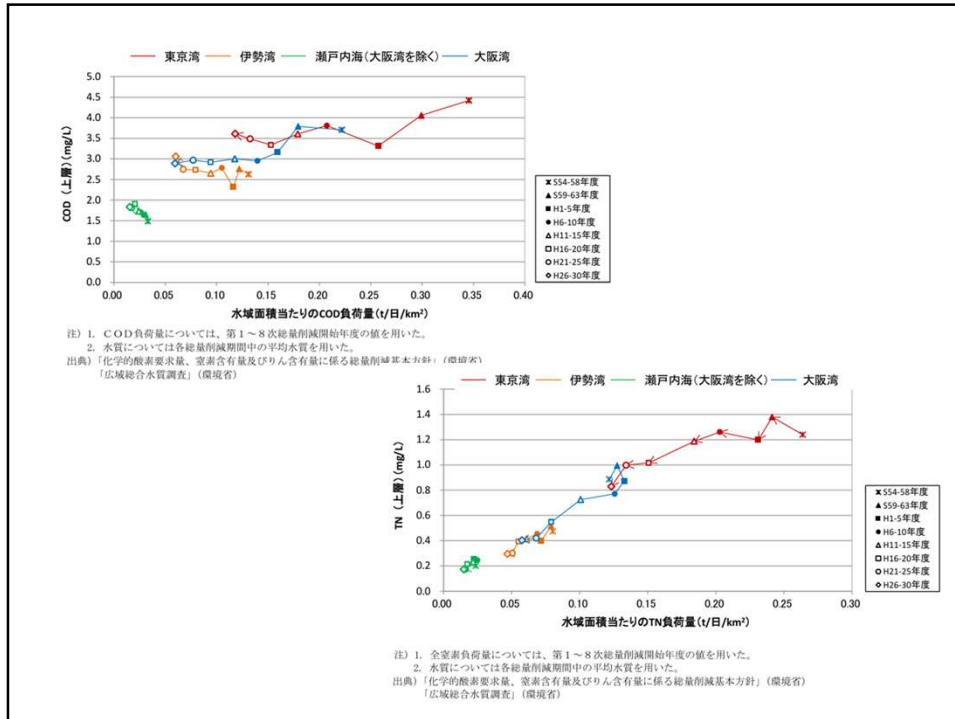


図 3-13 St.25 における無機態窒素・りん酸態りんの推移
出典: 東京都環境局 (2018a) より作成

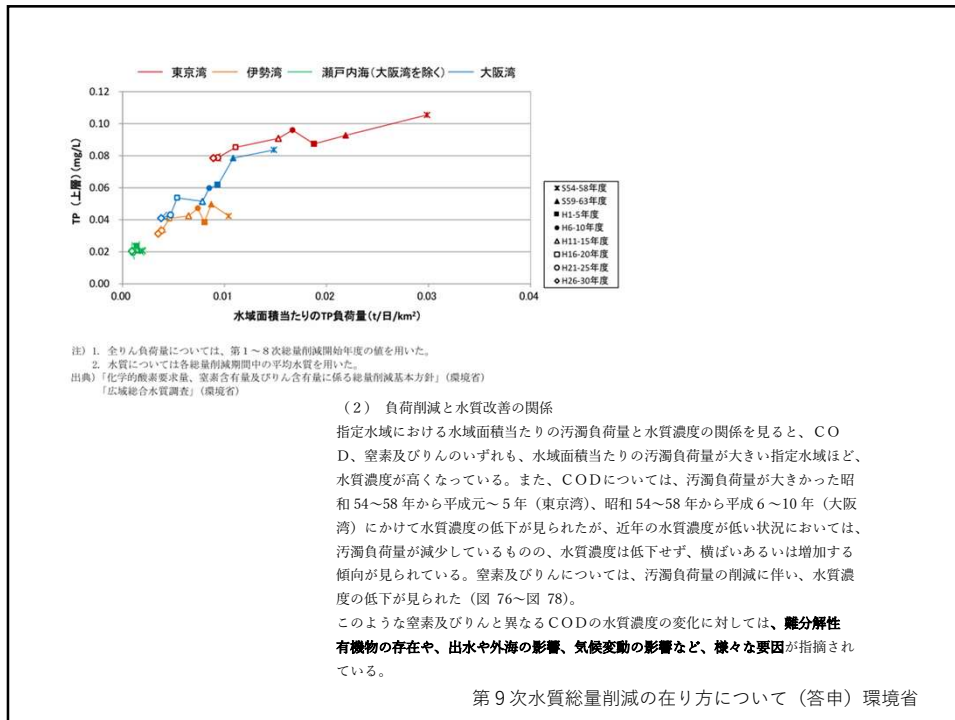
アンモニア態窒素を含む無機態窒素は1980年頃から上昇し、1990年代に高かったが、「東京湾富栄養化対策指導指針」に基づき、東京都が1982年7月から削減指導を開始して以降、穏やかに低下している。リン酸態りんは、「有機リン合成洗剤の使用中止に関する実施要項」に基づき1980年4月より指導を実施して一時急激に低下したが、その後は低下傾向が少なく、近年は足踏み状態である。

出典: 東京湾 生きものと共に見る長期的なうつりかわり
小倉・風間・小泉

4



5



6